

別記6(再評価)

<別記 6>

令和6年度 再評価対象事業一覧表

令和6年6月作成

整理番号	事業計画						再評価の理由※2	再評価の視点										前回審議年度	対応方針(原案)			
	事業名	施設名	事業主体	事業箇所	事業概要	工期		事業費(億円)	事業進捗の状況及び見込み					上位計画への位置づけ、関連事業の状況	社会経済情勢の変化	地元等の意向	費用対効果分析			コスト削減及び代替案立案の可能性の有無		
						着工			完了	進捗率(%)	用地進捗率(%)※3	R6年度事業費(億円)	R7年度以降事業費(億円)				B/C				分析基礎の要因の変化	
						上段:当初※1			下段:変更													当初※1
河川-1	総合流域防災事業	江ノ浦川	県	諫早市	改修延長L=2,290m 河道拡幅、河床掘削、築堤、護岸整備、堰改築、橋梁架替等	H8	R10	85	70.2	72.4	82(67)	1.0	25.8	・長崎県総合計画チャレンジ&チャレンジ2025基本戦略3-3安全安心で快適な地域を創る(3)災害に強く、命を守る強靱な地域づくりに位置付けられている。	・変化なし	・諫早市や地元住民より早期完成が望まれている。	1.1	2.4	【プラス要因】 ・治水経済調査マニュアル、資産評価単価及びデフレターの改定 【マイナス要因】 ・事業費増、工期延長	・これまで可能な限りコスト削減を図ってきており、事業効率化に大きく寄与する新たなコスト削減は見込めず、また代替案の可能性は無い。	H31	継続
						H8	R14	97														
河川-2	総合流域防災事業	久根川	県	対馬市	改修延長区L=2,200m 河道拡幅、河床掘削、築堤、護岸整備、橋梁架替、堰改築等	H4	R11	33	28.7	65.2	100(100)	0.7	14.6	・長崎県総合計画チャレンジ&チャレンジ2025基本戦略3-3安全安心で快適な地域を創る(3)災害に強く、命を守る強靱な地域づくりに位置付けられている。	・変化なし	・対馬市や地元住民より早期完成が望まれている。	1.9	2.3	【プラス要因】 ・治水経済調査マニュアル、資産評価単価及びデフレターの改定 【マイナス要因】 ・事業費増、工期延長	・これまで可能な限りコスト削減を図ってきており、事業効率化に大きく寄与する新たなコスト削減は見込めず、また代替案の可能性は無い。	H31	継続
						H4	R17	44														
河川-3	総合流域防災事業	田川	県	対馬市	改修延長区L=1,680m 河道拡幅、河床掘削、護岸整備、橋梁架替等	H14	R7	21	17.7	73.8	100(100)	0.8	5.5	・長崎県総合計画チャレンジ&チャレンジ2025基本戦略3-3安全安心で快適な地域を創る(3)災害に強く、命を守る強靱な地域づくりに位置付けられている。	・変化なし	・対馬市や地元住民より早期完成が望まれている。	4.0	4.7	【プラス要因】 ・治水経済調査マニュアル、資産評価単価及びデフレターの改定 【マイナス要因】 ・事業費増、工期延長	・これまで可能な限りコスト削減を図ってきており、事業効率化に大きく寄与する新たなコスト削減は見込めず、また代替案の可能性は無い。	R2	継続
						H14	R12	24														
河川-4	河川総合開発事業	石木ダム	県	川棚町	重力式コンクリートダム ダム高H=55.4m 堤頂長L=234.0m	S48	R7	285	210.4	50.1	100(100)	6.4	203.2	・長崎県総合計画チャレンジ2025 3-3-3「災害に強く、命を守る強靱な地域づくりに位置付けられている。 ・川棚川水系河川整備基本方針 ・川棚川水系河川整備計画	・人件費や資材価格の高騰、働き方改革による事業費増、工期変更 ・工事工程の見直しによる工期変更 ・用地取得について、収用委員会の決定により、令和元年11月までにすべての用地の明渡期限を迎えている。	・既に8割以上の地権者に協力を得て、ダム下流には代替宅地、貯水池左岸部には代替墓地を整備し、多くの地権者の方々が移転している。 ・地域から早期に完成を望む要望もあり、また、地元自治体もダム建設推進の立場を明確にしている。	1.2	1.1	【マイナス要因】 ・事業費の増 ・工期の延長 【その他要因】 ・マニュアル改定により、水害廃棄物処理費用等の便益が増加(プラス要因)	・治水や流水の正常な機能の維持について、現計画案と現計画案以外の代替案を比較検討し、最も有利な案は現計画案と評価している。 ・設計段階や工事施工においても、工法の工夫や新技術の積極的な採用により、今後も引き続き、コスト削減を図っていく。	R1	継続
						S48	R14	420														

別記6(再評価)

整理番号	事業計画							再評価の理由※2	再評価の視点										前回審議年度	対応方針(原案)		
	事業名	施設名	事業主体	事業箇所	事業概要	工期			事業費(億円)	事業進捗の状況及び見込み					上位計画への位置づけ、関連事業の状況	社会経済情勢の変化	地元等の意向	費用対効果分析			コスト削減及び代替案立案の可能性の有無	
						着工	完了			進捗率	用地進捗率(%)※3	R6年度事業費(億円)	R7年度以降事業費(億円)	B/C				分析基礎の要因の変化				
						上段:当初※1	下段:変更															(億円)
砂防-1	大規模特定砂防等事業	矢の平川砂防施設	県	長崎市	砂防えん堤1基 溪流保全工1式	H24	R8	7	6.2	68.5	100(100)	2.0	0.8	・長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 3-3-3「災害に強く、命を守る強靱な地域づくり」に位置付けられている。	・変化なし	・地元より早期完成を求められている。	4.4	3.3	【プラス要因】 ・特になし 【マイナス要因】 ・事業費の増 ・工期の延長 【その他要因】 ・特になし	・これまで可能な限りコスト削減を図ってきており、事業効率化に大きく寄与する新たなコスト削減は見込めない。 ・代替案の可能性は無い。	R3	継続
						H24	R9	9														
砂防-2	通常砂防事業	佐須瀬在家川砂防施設	県	対馬市	砂防えん堤1基 溪流保全工1式	H27	R3	4	0.7	13.3	1(1)	0.1	4.7	・長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 3-3-3「災害に強く、命を守る強靱な地域づくり」に位置付けられている。	・保全人家数の減少(24戸→18戸)	・地元より早期完成を求められている。	4.2	2.5	【プラス要因】 ・なし 【マイナス要因】 ・事業費の増 ・工期の延長 ・保全人家減少 【その他要因】 ・特になし	・これまで可能な限りコスト削減を図ってきており、事業効率化に大きく寄与する新たなコスト削減は見込めない。 ・代替案の可能性は無い。	-	継続
						H27	R11	5.5														
砂防-3	事業間連携砂防等事業	寺坂地区地すべり防止施設	県	諫早市	抑制工1式 抑止工1式	H25	R9	11	9.7	67.4	100(100)	1.3	3.4	・長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 3-3-3「災害に強く、命を守る強靱な地域づくり」に位置付けられている。	・変化なし	・地元より早期完成を求められている。	4.5	3.7	【プラス要因】 ・特になし 【マイナス要因】 ・事業費の増 【その他要因】 ・特になし	・これまで可能な限りコスト削減を図ってきており、事業効率化に大きく寄与する新たなコスト削減は見込めない。 ・代替案の可能性は無い。	R4	継続
						H25	R9	14.4														
砂防-4	大規模特定砂防等事業	木浦原地区地すべり防止施設	県	佐世保市	抑制工1式 抑止工1式	H31	R6	6.5	5.4	64.4	51(50)	0.4	2.6	・長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 3-3-3「災害に強く、命を守る強靱な地域づくり」に位置付けられている。	・変化なし	・地元より早期完成を求められている。	1.5	1.2	【プラス要因】 ・特になし 【マイナス要因】 ・事業費の増 ・工期の延長 【その他要因】 ・特になし	・これまで可能な限りコスト削減を図ってきており、事業効率化に大きく寄与する新たなコスト削減は見込めない。 ・代替案の可能性は無い。	-	継続
						H31	R9	8.4														
砂防-5	大規模特定砂防等事業	星鹿地区地すべり防止施設	県	松浦市	抑制工1式 抑止工1式	H29	R8	20	8.2	41.2	72(71)	0.4	11.4	・長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 3-3-3「災害に強く、命を守る強靱な地域づくり」に位置付けられている。	・変化なし	・地元より早期完成を求められている。	4.5	4.2	【プラス要因】 ・特になし 【マイナス要因】 ・工期の延長 【その他要因】 ・特になし	・これまで可能な限りコスト削減を図ってきており、事業効率化に大きく寄与する新たなコスト削減は見込めない。 ・代替案の可能性は無い。	-	継続
						H29	R11	20														

別記6(再評価)

整理番号	事業計画						再評価の理由※2	再評価の視点										前回審議年度	対応方針(原案)				
	事業名	施設名	事業主体	事業箇所	事業概要	工期			事業進捗の状況及び見込み					上計計画への位置づけ、関連事業の状況	社会経済情勢の変化	地元等の意向	費用対効果分析			コスト削減及び代替案立案の可能性の有無			
						着工		完了	事業費(億円)	前年度迄事業費	進捗率	用地進捗率	R6年度事業費				R7年度以降事業費				B/C	分析基礎の要因の変化	
						上段:当初※1 下段:変更			(億円)	(%)	(%)※3	(億円)	(億円)				当初※1				現行		
砂防-6	地すべり対策事業	宮ノ原地区地すべり防止施設	県	南島原市	抑制工1式 抑止工1式	H24	R6	3.9	再評価後変更⑩	4.0	66.7	100(100)	0.3	1.7	・長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 3-3-3「災害に強く、命を守る強靱な地域づくり」に位置付けられている。	・変化なし	・地元より早期完成を求められている。	23.5	18.2	【プラス要因】 ・特になし 【マイナス要因】 ・事業費の増 ・工期の延長 【その他要因】 ・特になし	・これまで可能な限りコスト削減を図ってきており、事業効率化に大きく寄与する新たなコスト削減は見込めない。 ・代替案の可能性は無い。	R3	継続
H24	R11	6	当初※1	現行																			
砂防-7	地すべり対策事業	石宗地区地すべり防止施設	県	西海市	抑制工1式 抑止工1式	H27	R5	6	事業採択後10年経過③	6.3	63.6	100(100)	0.3	3.3	・長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 3-3-3「災害に強く、命を守る強靱な地域づくり」に位置付けられている。	・変化なし	・地元より早期完成を求められている。	2.5	1.7	【プラス要因】 ・特になし 【マイナス要因】 ・事業費の増 ・工期の延長 【その他要因】 ・特になし	・これまで可能な限りコスト削減を図ってきており、事業効率化に大きく寄与する新たなコスト削減は見込めない。 ・代替案の可能性は無い。	-	継続
H27	R10	9.9	当初※1	現行																			
砂防-8	急傾斜地崩壊対策事業	多良良(4)地区急傾斜地崩壊防止施設	県	長崎市	工事長 L=188m 法面工 A=16,000㎡	H27	R2	3.6	事業採択後10年経過③	2.0	23.5	100(100)	0.0	6.6	・長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 3-3-3「災害に強く、命を守る強靱な地域づくり」に位置付けられている。	・保全人数の減少(15戸→13戸)	・地元より早期完成を求められている。	1.7	1.2	【プラス要因】 ・マニュアル改定により人的被害の便益が増加 【マイナス要因】 ・事業費の増 ・工期の延長 ・保全人数減少 【その他要因】 ・特になし	・これまで可能な限りコスト削減を図ってきており、事業効率化に大きく寄与する新たなコスト削減は見込めない。 ・代替案の可能性は無い。	-	継続
H27	R11	8.6	当初※1	現行																			
砂防-9	急傾斜崩壊対策事業	松瀬(2)地区急傾斜地崩壊防止施設	県	佐世保市	工事長 L=190m 法面工 A=6,500㎡	H27	R3	4.7	事業採択後10年経過③	3.7	46.3	100(100)	0.9	3.4	・長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 3-3-3「災害に強く、命を守る強靱な地域づくり」に位置付けられている。	・保全対象人家の減少(36戸→30戸)	・地元より早期完成を求められている。	2.8	3.5	【プラス要因】 ・マニュアル改定により人的被害の便益が増加 【マイナス要因】 ・事業費の増 ・工期の延長 ・保全人数減少 【その他要因】 ・特になし	・これまで可能な限りコスト削減を図ってきており、事業効率化に大きく寄与する新たなコスト削減は見込めない。 ・代替案の可能性は無い。	-	継続
H27	R10	8	当初※1	現行																			
砂防-10	急傾斜崩壊対策事業	勝海(5)地区急傾斜地崩壊防止施設	県	佐世保市	工事長 L=300m 法面工 A=7,000㎡	H27	R3	2.5	事業採択後10年経過③	3.4	44.3	100(100)	0.8	3.5	・長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 3-3-3「災害に強く、命を守る強靱な地域づくり」に位置付けられている。	・変化なし	・地元より早期完成を求められている。	3.1	2.8	【プラス要因】 ・マニュアル改定により人的被害の便益が増加 【マイナス要因】 ・事業費の増 ・工期の延長 【その他要因】 ・特になし	・これまで可能な限りコスト削減を図ってきており、事業効率化に大きく寄与する新たなコスト削減は見込めない。 ・代替案の可能性は無い。	-	継続
H27	R10	7.7	当初※1	現行																			

別記6(再評価)

整理 番号	事業計画						再評価の 理由※2	再評価の視点										前回 審議 年度	対応 方針 (原案)			
	事業名	施設名	事業 主体	事業箇所	事業概要	工期		事業費 (億円)	事業進捗の状況及び見込み					上位計画への位置づけ、 関連事業の状況	社会経済 情勢の変化	地元等 の意向	費用対効果分析			コスト削減 及び 代替案立案の 可能性の有無		
						着工			完了	進捗率	用地 進捗率 (%) ※3	R6年度 事業費 (億円)	R7年度 以降事業 (億円)				B/C				分析基礎の 要因の変化	
						上段：当初※1 下段：変更			下段：変更													当初 ※1
砂防 -11	急傾斜地崩壊対策 事業	小島(9)地区 急傾斜地崩壊防止 施設	県	佐世保 市	工事長 L=195m 法面工 A=4,900㎡	H27	R3	2	3.0	56.6	100(100)	0.5	1.9	・長崎県総合計画チェンジ&チャ レンジ2025 3-3-3「災害に強く、命を守る強靱 な地域づくり」に位置付けられて いる。	・保全人数の減少 (18戸→15戸)	・地元より早期完 成を求められている。	3.5	2.6	【プラス要因】 ・マニュアル改定 により人的被害の 便益が増加 【マイナス要因】 ・事業費の増 ・工期の延長 ・保全人数減少 【その他要因】 ・特になし	・これまで可能な 限りコスト削減を 図ってきており、 事業効率化に大 きく寄与する新た なコスト削減は見 込めない。 ・代替案の可能性 は無い。	-	継続
						H27	R9	5.3														
住宅 -1	住宅市街地総合整 備事業	立山地区	市	長崎市	延長 L=715m 幅員 W=7.5m	H17	R6	20.5	15.0	55.1	0.9	0.8	11.4	・長崎市第五次総合計画 E5-3「住環境の改善及び再生を 図ります」に位置付けられてい る。	平成27年から令和1年の5年 間で、人口は10%減、世帯 は18%減、高齢化率は 4% 増加している。	平成12年度にまち づくり協議会が発 足し、活動を継続 的に行っている。 まちづくりや事業 目的の認識も高 く、事業推進のた めの理解・協力は 十分である。	1.6	1.3	・事業費の増(道 路構造物の変更) ・工期の延長(用 地解決の遅延)	・事業の効率化に よる事業進捗の 向上に努め、事 業期間の短縮を 図る。 ・現段階では代替 案の可能性は無い。	R1	継続
						H17	R11	27.2														